

## 編集室

## からころステーション

からだところの相談所である「からころステーション」(からころ)は石巻駅前にあります。H23.6仙台の原医師らにより設立された「震災ところのケア・ネットワークみやぎ」の活動拠点で、石巻市と周辺地域の被災者の心のケアとフォローを行っています。災害救助法によるところのケアチームの派遣は発災後6ヵ月で終了しましたが、「からころ」は地元に着した民間団体の支援活動拠点として特筆される場となっています。東日本大震災はメンタルヘルス領域の支援としても最大規模の支援となりました。日本精神神経科診療所協会(日精診)は阪神淡路大震災の経験を生かし、発災直後から支援活動を開始し、「からころ」設立当初から全面的に協力して被災者支援を今日まで行っています。ちなみに、被災により宮城県東部保健所管内では、精神科診療所5カ所が4カ所に、精神科病院3病院が2病院に減ってしまいました。

「からころ」は、アウトリーチを中心とし、柔軟かつスピーディー、地域により近く丁寧、継続性、顔の見える関係、を合い言葉に支援を行っています。被災直後の「からころ」の活動は、被災者宅を訪問し生活物資の配給を通じ心身の健康状態を把握することから始まり、イベントや炊き出しに併せて移動診察室の設置、ハローワークでの個別メンタルヘルス相談などを行い、うつ病の早期発見や自殺防止、認知症の増悪防止に効果的な活動をしてきました。被災地の復旧によ

り活動内容は変わり、現在の活動は大きくアウトリーチと来所相談、電話相談に分けられます。行政の委託を受けた戸別訪問に私も同行したことがありますが、ほとんどは初対面の方に、雨風、寒暑に関係なく訪問をするスタッフの熱意に圧倒されました。来所者に対する活動は相談事業以外に、「おじころ」「からころん」「からころミーティング」などを行っています。その中でも、自殺のリスクファクターであるアルコール問題を抱えている高齢の独居男性などへの回復を支援するメンタルヘルス対策は重要な活動の一つです。

現在の「からころ」のスタッフはPSW10名、保健師、Ns、OT各1名、Cp4名、他5名で、利用者数は昨年のべ12,000人弱(訪問4,000人、来所2,000人、電話3,500人)、今年は7月まででのべ7,100人(各々2,200人、1,400人、2,300人)となっています。また、「からころ」の活動に医師の参加は不可欠です。過去6年間で延べ2,300名の日精診の会員が日本各地から支援に参加しています。現在も毎月30名ほどの医師が参加しています。直近に広島から参加されたT先生は来所者への支援に参加し、有意義な活動ができたことに満足されていました。

このように東日本大震災被災者への支援と心のケアはまだまだ続きます。皆さまのご支援どうぞよろしく願いいたします(<http://karakorostation.jp/support>)。

(山崎 正数)

## 広島県医師会速報 2017年(平成29年)9月25日

- 発行所／一般社団法人 広島県医師会 〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号 TEL 082-568-1511 FAX 082-568-2112  
広島県医師会HP <http://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail: [kouhou@hiroshima.med.or.jp](mailto:kouhou@hiroshima.med.or.jp)
- 編集者／広島県医師会長 平松 恵一  
(広報委員)山中 祐介、小園 亮次、高路 修、隅田 昌之、谷 充理、津田 敏孝、中尾 三和子、平尾 健、正岡 良之、吉田 良順、桑原 正雄、小笠原 英敬、水野 正晴、志田原 泰夫
- 印刷所／レタープレス株式会社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL 082-844-7500 FAX 082-844-7800